

令和2年度 経営発達支援計画 実施報告書

I. 地域の経済動向調査に関すること【指針③】

(1) 小規模事業者の経済動向調査

(取り組み内容)

①小規模事業者の経済動向調査 未実施

(目標と実績)

支援内容	R元実績	R2目標	R2年実績	達成率
調査件数	2,107	2,200	—	—
情報提供件数	2,107	2,200	—	—

(課題と対応)

昨年は、当所会員企業のみを対象として、アンケート調査を実施しているが、小規模企業のみを対象とした景況調査は実施していない。

今後は、管内小規模事業者の情勢把握のためのアンケートを年2回程度実施に努めたい。

参考として、昨年4月実施のアンケートを添付した。「新型コロナウイルスに関する緊急アンケート調査」

調査期間 令和2年4月16日(金)～5月8日(金)

調査対象 会員企業 1,519社

有効回答 148社

(2) LOBO調査(日本商工会議所早期景気観測システムに提供する資料調査)

(取り組み内容)

当商工会議所会員企業に毎月のLOBO調査を依頼している。調査票は毎月5日頃に日本商工会議所の情報サイトにアップされており、締切日(毎月20日頃)までに各企業から頂いた回答を報告している。その結果をもとに集計した日本商工会議所からの業種別景気状況を毎月当商工会議所の会報誌に掲載していることで会員に情報を提供している。

依頼先の業種 製造業、建設業、小売業、サービス業、卸売業

調査項目 売上高、採算性、仕入単価、従業員、業況、資金繰り
その他(設備、為替、法律、災害など)

(目標と実績)

支援内容	R元実績	R2目標	R2年実績	達成率
調査件数	9	10	9	90.0%
情報提供件数	1,600	1,600	1,600	100.0%

(課題と対応)

毎月定期的な景況調査を依頼しているのは9社。
定期的なヒアリングにより、管内の景気動向把握に努めている。

II. 経営状況の分析に関すること【指針①】

(取り組み内容)

①経営分析セミナー

1月26日(火)、3月4日(木)で2回実施。
決算書を基にした経営分析手法について学んだ。

(目標と実績)

支援内容	R元実績	R2目標	R2年実績	達成率
巡回訪問件数	802	1,000	636	63.6%
マル経融資推薦件数	24	17	12	70.5%
経営分析セミナー参加者数	110	100	45	45.0%
専門家活用個社支援数	19	20	32	160.0%
経営分析実施事業者件数	40	66	72	109.1%

(課題と対応)

小規模事業者は、経営分析するために必要な知識・経験が不足している事業所が多い。
アンケート・セミナーを通じて、興味を持たれた事業所を中心に経営分析を実施した。

III. 事業計画の策定支援に関すること【指針②】

(取り組み内容)

①小規模事業者の計画策定支援

これまでの小規模事業者持続化補助金申請先、石川県中小企業再生・事業転換支援プログラム利用先、小規模事業者経営改善資金(マル経融資)利用先に加えて、経営分析を行った支援先には、事業計画の策定を促した。

また、小規模事業者持続化補助金の申請を希望される事業所のために、中小企業診断士の山岸康成氏を講師として「事業計画ブラッシュアップ相談」を5回実施し、全体で10社の事業計画策定を支援した。

②創業者の計画策定支援

これから創業する人や、創業から間もない人を対象として「はくさん創業応援塾」を令和2年5月10日(日)と令和3年3月7日(日)に開催し、セミナーの中で、創業時の事業計画策定支援を行った。

③事業承継支援

経営者の高齢化や後継者の不在により事業承継が困難になっている事業者に対し支援を行った。石川県事業引継ぎ相談窓口への紹介と企業ドック制度を使い専門家を派遣し対応した。

(目標と実績)

①小規模事業者の計画策定支援

支援内容	R元実績	R2目標	R2年実績	達成率
巡回訪問件数	802	1,000	636	63.6%
マル経融資推薦件数	24	17	12	70.5%
経営分析セミナー参加者数	110	100	31	110.0%
専門家活用個社支援数	19	20	32	160.0%
経営分析実施事業者件数	40	66	72	109.1%

②創業者の計画策定支援

支援内容	R元実績	R2目標	R2年実績	達成率
はくさん創業応援塾受講者数	26	20	24	120.0%
専門家活用個社支援数	2	8	2	25.0%
事業計画実施事業者件数	22	20	24	120.0%

(課題と対応)

創業者の持続的成長を図るため、事業計画の策定の必要性について更なる啓蒙に務め、支援ニーズの掘り起こしを行う。現状の経営動向調査等で得られた情報を踏まえて、事業計画の作成を行う。又、経営分析を行った全ての支援先には事業計画の作成に繋げるようにしたい。

IV. 事業計画策定支援後の実施支援に関すること【指針②】

(取り組み内容)

①経営状況の分析結果、経済動向等を踏まえて、事業計画策定支援の対象事業者を対象としてフォローアップ支援を行った。特に主眼を置くポイントとしては、事業計画の目標とする売上や利益が順調に推移しているか否かを確認した。

(目標と実績)

支援内容	R元実績	R2目標	R2年実績	達成率
フォローアップ事業専門家派遣数	10	12	11	91.6%
フォローアップ支援企業数	35	86	71	82.5%

(課題と対応)

小規模事業者に対し、専門家派遣で支援した先等に対して、経営指導員が巡回訪問や窓口相談時に、指導内容が実行されているかをチェックしている。

昨年は、県の補助金（感染対策補助金、チャレンジ補助金）申請等で小規模事業者との接点

が多くあったため、フォローアップ支援先が増加した。

基本的にトータル3年間のモニタリングを想定しているが、「目標とする売上や利益を達成した」と判断した時点で支援を終えることになっており、計画を達成した事業所を増やしたい。

V. 需要動向調査に関すること【指針③】

(取り組み内容)

①需要動向を把握・活用出来るセミナーの開催、個別相談会の実施

金城大学短期大学部ビジネス実務学科の学生による産学連携の取り組みについて事例発表や成果報告を行った。(産学連携ゼミナール)

また、ヘアー&ビューティーサロンガイドブックの作成に際してターゲットとする若い消費者の意見を聴取している。

需要動向に関するセミナーは、去年は実施していない。

(目標と実績)

支援内容	R元実績	R2目標	R2年実績	達成率
調査件数	1	6	1	16.6%
情報提供件数	1,600	1,600	1,600	100.0%

②需要動向を把握・活用出来るセミナーの開催、個別相談会の実施

支援内容	R元実績	R2目標	R2年実績	達成率
需要動向活用セミナー参加者数	53	40	—	—%
専門家活用個社支援数	22	20	6	30.0%

VI. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること【指針④】

(取り組み内容・目標と実績)

①いしかわ中小企業チャレンジ支援ファンド

公募期間 令和2年4月12日(月)～6月13日(金)

支援内容	R元実績	R2目標	R2年実績	達成率
採択件数(当該地域)	4	8	7	87.5%

②マルシェ ドゥ ハクサン～白山の旬の味を食べマルシェ～の出展促進

開催日 6月、10月ともコロナ感染対策のため、中止となった。

場 所 6月 開催中止 10月 開催中止

支援内容	R元実績	R2目標	R2年実績	達成率
出展企業数	33	33	—	—%

③サマーフェスティバルHAKUSAN グルメストリートの出展促進

開催日 開催中止

場 所 開催中止

支援内容	R元実績	R2目標	R2年実績	達成率
出展企業数	21	17	—	—%
平均売上高	16.5万円	20万円	—万円	—%

④サマーフェスティバルHAKUSAN KARA旨グランプリの出展促進

開催日 開催中止

場 所 開催中止

支援内容	R元実績	R2目標	R2年実績	達成率
出展企業数	40	33	—	—
平均売上高	14.9万円	8万円	—	—

⑤販売促進セミナーの開催、個社支援の実施

開催日 令和2年10月29日(木)、11月16日(月)、12月3日(木)、
令和3年1月27日(水)、2月17日(水)、3月12日(金)、3月19日(金)の7回実施

場 所 白山商工会議所

支援内容	R元実績	R2目標	R2年実績	達成率
セミナー参加者数	73	50	119	238.0%
個社支援数	19	6	12	200.0%

⑥販路拡大セミナーの開催、個社支援の実施

- ・ZOOM活用販路開拓セミナー

伴走型補助金を活用

開催日 令和2年10月26日(月)

場 所 白山商工会議所

- ・SNS活用販路開拓セミナー

伴走型補助金を活用

開催日 令和2年11月4日(火)

場 所 白山商工会議所

- ・販路拡大応援隊(小規模事業者に対する無料専門家派遣事業)

伴走型補助金を活用

利用者 12社(27回実施)

支援内容	R元実績	R2目標	R2年実績	達成率
販路拡大セミナー参加者数	20	60	53	88.3%
個社支援数	8	10	12	120.0%

⑦展示会などへの情報提供及び支援

・第13回 かなざわマッチング商談会

開催日 令和2年8月25日(火)～28日(金)

場所 地場産業振興センター新館 1階コンベンションホール

支援内容
かなざわ商談会のチラシを白山商工会議所会員企業に配布し出展を促し、その中で6社の出展があった。

⑧小規模事業者持続化補助金を活用した販路開拓支援

令和元年度補正 小規模事業者持続化補助金(一般型)

第5回 2020年 4月1日(水)～2020年 6月5日(金)

第6回 2020年 6月8日(月)～2020年10月2日(金)

第7回 2020年10月5日(月)～2021年 2月5日(金)

令和2年度補正予算 小規模事業者持続化補助金(コロナ特別対応型)

第1回 2020年 4月28日(金)～2020年 5月15日(金)

第2回 2020年 5月18日(月)～2020年 6月 5日(金)

第3回 2020年 6月 8日(月)～2020年 8月 7日(金)

第4回 2020年 8月10日(月)～2020年10月 2日(金)

第5回 2020年10月 5日(月)～2020年12月10日(木)

支援内容	R元実績	R2目標	R2年実績	達成率
小規模事業者持続化補助金申請件数	14	55	48	87.2%
うち採択数	8	28	40	142.8%

⑨MATTOヘアー&ビューティーサロンガイドブックの作成

伴走型補助金を活用

10～30代の若い男性、女性を主なターゲットとして、白山市松任エリア内の小規模な理容、美容、コスメティックサロン、エステティックサロン、ネイルサロン等、「おしゃれ」や「美」に関わるお店の魅力を伝え、参加した小規模事業者の売上増加、販売促進を図ることを目的として作成。作成した小冊子は、JR松任駅、白山市近郊の3つの大学、アピタ、イオン、ラスパ、公共施設、参加店の店頭等で配布した。

募集期間 令和2年11月～12月

参加企業 小規模事業者48社、中小企業3社

発行部数 7,000部

⑩白山商工会議所会報、メールサービスの情報によるマッチング

支援内容
会報の会員紹介コーナーにて小規模事業者の新商品、新サービス、新たな取り組みを紹介した。

(課題と対応)

持続化補助金は、従来の一般型に加え、コロナ特別対応型が新設されたことを背景に、採択件数が大幅に増加した。

販路拡大応援隊事業は、小規模企業から寄せられる多様な相談ニーズに対応するために創設。

ホームページを活用した販売促進策、ITを活用した販路開拓に関する相談を受け付けている。

Ⅶ. 地域経済の活性化に資する取組

(取り組み内容・目標と実績)

(1) 地域活性化イベント「サマーフェスティバルHAKUSAN」の開催

① 「KARA旨グランプリ」

開催日 開催中止

場 所 開催中止

支援内容	R元実績	R2目標	R2年実績	達成率
KARA旨グランプリ投票数	1,877	2,130	—	—%
KARA旨グランプリ出店数	40	33	—	—%
KARA旨グランプリ全体売上高	595万円	307万円	—	—%

② 「サマーフェスティバルHAKUSAN2020」

開催日 開催中止

場 所 開催中止

支援内容	R元実績	R2目標	R2年実績	達成率
フェスティバル全体集客人数	25,000	36,000	—	—%

(2) 中心市街地活性化事業「まちゼミ」の実施

開催日 開催中止

場 所 開催中止

支援内容	R元実績	R2目標	R2年実績	達成率
まちゼミ出店数	19	20	—	—%
まちゼミ講座数	27	40	—	—%
受講者数	73	190	—	—%

(3) 白山市の地域力再発見！知っとるツアーの実施

開催日 開催中止

場 所 開催中止

支援内容	R元実績	R2目標	R2年実績	達成率
参加者数	17	40	—	—%

(課題と対応)

コロナ禍でサマーフェスティバルHAKUSAN2020、KARA旨グランプリ、まちゼミ、知っとるツアーは中止となった。

VIII. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組

1. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること

(取り組み内容・目標と実績)

(1) 石川県内の商工会議所間での連携

内 容	
2月22日	経営改善普及事業連絡協議会
2月24日	北陸信越ブロック中小企業相談所長会議

(2) 石川県、白山市との意見交換会

内 容	
11月4日	石川県地区別金融円滑化懇談会
12月2日	令和3年度白山市に対する要望・提案

(3) 市内商工会との連携

内 容	
5月28日	白山市経済団体連絡協議会事務局会議
7月20日	白山市経済団体連絡協議会事務局会議
9月18日	白山市経済団体連絡協議会事務局会議
12月2日	令和2年度 白山市に対する要望

(4) 日本政策金融公庫、金融機関との連携、意見交換会

内 容	
12月17日	日本政策金融公庫との懇談会
2月27日	経営改善普及事業連絡協議会

(5) 専門家との連携及び情報共有

内 容	
中小企業診断士、税理士等と個別に連携し情報交換を行う	

(課題と対応)

経営発達支援事業と違うテーマが議題となっているケースが多く、関連している話題や情報共有は行われているが、具体的な支援ノウハウ等の情報交換には至っていない。小規模事業者の支援といった観点で効果的な議論を行う必要がある。

IX. 経営指導員等の資質向上等に関すること

(取り組み内容・目標と実績)

- (1) 経営発達支援特別チームが個別案件を持ち寄り、経営分析、経営計画書を基に経営状況の確認と利益計上されている事業所の特徴を意見交換する。

支援ノウハウのデータについては共有サーバにて保存・管理し、紙媒体についてはファイリングして一まとめにする。

内 容
経営指導員において意見交換を行う。持続化補助金や融資の案件を持ち寄り、企業の状況、景況感について協議を行う。

- (2) 毎月末に行う全職員参加の「職場会」と週初めに行う「朝礼」において、小規模事業者に関する情報交換と支援内容、支援方法の向上を図る。

内 容
経営支援課の情報交換会において支援力の資質向上、指導内容の平準化を図る。

- (3) 日本商工会議所が主催する研修会、中部経済産業局が主催する研修会に参加することで、経営支援の基礎能力習得や地域の課題に対応する支援能力の向上を図っている。

内 容
令和3年1月20日～23日 小規模企業経営指導力強化事業・事業継続力強化計画 策定支援研修（BCP策定）（中小企業庁）

- (4) 石川県商工会議所連合会が主催する研修会一般コース（国・県等の施策などの知識）、特別コース（金融、補助金申請、税務、経営改善、事業承継、経営革新、創業などの専門知識）に参加し、商工労働行政の施策情報を得るとともに小規模事業者支援事業の実施に当たって必要となる専門的な知識を習得する。（最低15時間）

内 容
9月25日 経営指導員研修 特別コース2名オンライン参加（マーケティング）
10月20日 経営指導員研修 特別コース2名（働き方改革）
11月12日 経営指導員研修 一般コース 2名参加
11月13日 経営指導員研修 一般コース 2名参加
11月30日 経営指導員研修 特別コース2名オンライン参加（事業承継）
12月18日 経営指導員研修 特別コース2名オンライン参加（IT活用）
2月 1日 経営指導員研修 特別コース2名オンライン参加（創業支援）

- (5) WEB研修を受講し、全国の経営指導員等が、小規模事業者の高度化・多様化するニーズに対応し、創業・経営革新につながる提案型指導ができるよう、経営指導員等の専門家や資質向上に必要な知識を習得できるシステムを活用し、計画的に受講（受講時間、進捗管理）することで支援能力の向上を図る。

内 容
経営指導員4名によりWEB研修の積極的な受講を実施

(課題と対応)

経営指導員は研修に参加し能力向上を図っている。

補助対象となる経営指導員は4名であるが、業務経験のある職員を2名、経営指導員として活用することで

個社支援の指導内容をTOAS（トータルOAシステムの略。日本商工会議所が開発したクラウド型の経営支援ツール）に入力することによって職員間で情報共有する仕組みを構築している。

令和3年度、他の商工会議所の支援事例を参考として、「BIZミル」（経営分析、経営支援を目的としたクラウド）を導入する予定である。